

環境に係る情報協議会 国営かんがい排水事業 幌向川地区

1. 環境に対する考え方

(「岩見沢市田園環境整備マスタープラン」から)

《農村環境の現状と課題》

【現状】

岩見沢市の自然環境は、中央部に市街地があり、東部には夕張山地と連なる山地から、西部の石狩川左岸に広がる低平地にいたるまで、多様な自然に恵まれ生息する動物や植物の種類も豊富である。また、西部の低地帯には多くの湖沼が見られ、魚介類をはじめ水生植物も豊かである。

【課題】

河川整備等により、かつてはいたるところで見られた「イトヨ」などが減少しており、今後は環境に配慮した水辺環境の整備が重要である。

《環境保全の基本的考え方》

山地から湖沼に至る恵まれた自然環境とそこに生息する多様な生物を総合的に保全するため、自然環境に配慮した整備を行う。

生産性の向上を図り、地域農業を担う農業者の確保、環境にやさしい農業を推進するとともに、美しい景観を保全するため、環境に配慮した整備を行う。

2. 環境配慮計画

《基本方針》

本事業における施設の改修にあたっては、生息する生物の保全に配慮する。また、機械類の塗装には、河川景観と調和した色彩とする。

《取り組み内容》

【生態系への配慮】

- ①地区内の河川等に生息している魚類の生息環境を保全するため、施工時には濁水処理施設を設置し、濁水流出防止を図る。
- ②鳥類の生息(繁殖時期)に配慮した工事期間を設定する。

【景観への配慮】

- ③河川景観との調和への配慮として、機械類の塗装色において、周辺景観の色彩との調和を配慮した色相、明度、彩度等に留意し、光沢を抑えた落ち着いた色彩を採用する。